2021年３月16日

各　位

会 社 名　　株 式 会 社 イ ン ト ラ ン ス
代表者名　　代表取締役社長　濱 谷　雄 二
(コード番号3237　東証マザーズ)
問合せ先　　管 理 本 部 部 長　北 川　雅 章
(TEL　　03－6803－8100)

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

下記のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開催日時　　2021年３月16日 16:00～16:40

開催方法　　対面による実開催

開催場所　　株式会社イントランス 大会議室
（東京都渋谷区道玄坂１－16－５　大下ビル９階)

説明会資料　　2021年３月期 第３四半期決算補足資料

【添付資料】

・2021年３月期 第３四半期決算補足資料

以 上

２０２１年３月期

第３四半期決算補足資料

株式会社イントランス（３２３７）

東証マザーズ市場上場
証券コード ３２３７

（目次）

1 2021年3月期 第3四半期決算概要

2 3月10日開示内容の説明

3 今後の事業展開 ～ コロナ後を見据えて ～

INTRANCE
Intelligence・Trust・Perseverance

1 ① 2021年3月期第３四半期 業績（2020/4～2020/12）

保有する販売用不動産の売却活動を積極的に行い６物件を売却。

（単位：百万円）

	2020年3月期 第３四半期	2021年3月期 第３四半期	対前年同四半期 増減額	対前年増減率
売　上　高	455	1,051	595	130.6%
営業利益	△546	△451	95	—
経常利益	△582	△632	△49	—
当期純利益	△584	△634	△50	—

1 ② 2021年3月期第３四半期 要約損益計算書（2020/4～2020/12）

（単位：百万円）

	2020年3月期 第３四半期	2021年3月期 第３四半期	前年同期 増減額
売上高	455	1,051	595
プリンシパルインベストメント事業	0	617	617
ソリューション事業	304	296	△ 8
その他事業	151	138	△ 12
売上原価	354	958	603
プリンシパルインベストメント事業	99	723	624
ソリューション事業	185	184	0
その他事業	70	50	△ 19
売上総利益	101	93	△ 8
販管費	648	544	△ 104
営業利益	△ 546	△ 451	95
経常利益	△ 582	△ 632	△ 49
四半期純利益	△ 584	△ 634	△ 50

販売用不動産６物件を売却

【大多喜ハーブガーデン】外食卸売が苦戦も、小売向けが伸長し、卸売事業は前年並。ＳＮＳ等の広告戦略が奏功し、来園者数が増加

1Qに84百万円、2Qに41百万円の評価損（売却損）を計上

主に前期計上の横丁関連費用69百万円及び貸倒引当金49百万円が減少要因

売買契約の解約に係る費用168百万円を営業外費用に計上

INTRANCE
Intelligence・Trust・Perseverance

1 ③ 2021年3月期第３四半期 要約貸借対照表（2020/12）

（単位：百万円）

	2020年3月末	2020年3月期12月末	増 減
【資産合計】	**4,027**	**3,180**	**△ 847**
（流動資産）	**3,999**	**3,125**	**△ 873**
現金及び預金	819	911	91
販売用不動産	2,615	1,883	△ 731
その他	564	331	△ 233
（固定資産）	**28**	**55**	**26**
有形固定資産	5	5	0
無形固定資産	0	27	26
投資その他の資産	22	22	0
負債合計	**2,017**	**1,792**	**△ 225**
（流動負債）	**806**	**1,442**	**636**
短期借入金	274	0	△ 274
1年内返済予定長期借入金	215	1,098	883
その他	316	344	27
（固定負債）	**1,211**	**350**	**△ 861**
長期借入金	1,203	342	△ 861
その他	7	7	0
純資産合計	**2,010**	**1,388**	**△ 622**
自己資本比率（%）	49.6	42.9	―

販売用不動産６物件を売却

法人税の還付137百万円及び売買契約の解約による手付金の費用化77百万円

予約送客システムのソフトウェア構築費用

長期借入金から一年内返済長期借入金への振替

INTRANCE
Intelligence・Trust・Perseverance

2 ① 和歌山マリーナシティ（信託受益権）売買契約の締結

2016年8月に取得した和歌山マリーナシティ内3施設（信託受益権）の売買契約を締結

売買契約締結日	**2021年３月10日**
決済・引渡日	**2021年４月30日（予定）**

（売却する信託受益権の概要）



施 設 名 称	和歌山マリーナシティホテル
所　在　地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬1517番地1



施 設 名 称	紀州黒潮温泉
所　在　地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬1525番地



施 設 名 称	ソルカサ・デル・マール（1階部分）
所　在　地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬1517番地2

2 ② 2021年3月期 通期連結業績予想の修正

2021年３月期通期連結業績予想を修正

（単位：百万円）

	当初予想	修正予想 (2021/3/10発表)	増減額	(ご参考) 2020年３月期
売　上　高	3,500	1,210	△2,290	1,174
営業利益	400	△540	△940	△931
経常利益	150	△730	△880	△973
当期純利益	120	△733	△853	△1,013

（売上高・利益）

・３月10日締結の信託受益権の売買契約において、売上計上が来期にずれ込み（修正幅のおよそ８割程度）

・新型コロナウイルス感染症の影響による計画を下回る金額での交渉

・新型コロナウイルス感染症 第二波の感染拡大及び緊急事態宣言の発出による営業活動への影響

2 ③ 株主優待制度の中止

業績修正を受け、株主優待制度を中止

・通期で大幅な当期純損失の見込み

・新型コロナウイルス感染症の影響の不透明さ

・経営基盤と財務体質の強化による株主様の長期的な利益確保

基準日	株主優待
2021年３月末日	中　止

※ 2022年３月期以降の株主優待は、現時点で未定

3 ① 今後の事業展開 ～ コロナ後を見据えて ～

コロナ後を見据え、5つの事業領域を積極推進

- ▶ 適格機関投資家等特例業務
- ▶ 宅地建物取引業
- ▶ 第二種金融商品取引業
- ▶ 投資助言・代理業

イントランス

- グループ会社管理
- 事業企画・案件発掘

ファンド事業	不動産投資事業	不動産開発事業	ホテル＆リゾート事業	ホテルシステム事業
• ホテル投資ファンドの運営及び管理 • ホテル運営業者への自己/共同出資	• プロパティマネジメント • アセットマネジメント • 不動産証券化事業	• ホテル不動産販売仲介・海外投資家向けの取扱 • ホテル不動産開発	• ホテル運営コンサルティング • ホテル運営受託 • 外資ブランドとの提携・合弁	• 予約・販売管理システム • 顧客データベース（顧客満足度管理）

3 ② 参考

2021年３月期

2020.10　名古屋支社の閉鎖
2020.11　ファンド事業に進出
2020.12　投資助言・代理業　登録
2021.02　関西支社の設置